

## 令和3年度雲南市水道事業会計決算状況について(概要)

## 1. 水道事業の概要

水道事業は、安心・安全な水を安定して供給することを目的としています。市内の水道の整備率は令和2年度末で99.3%、普及率は96.1%となっています。市内全体で34浄水場を有し、浄水施設及び管路等の維持管理、更新を行っています。

令和3年度は未普及地域の解消事業として、大東町の山王寺本郷地区水道整備事業の布設工事が進捗中であり、令和5年度の完成予定となっています。その他、管路の耐震化事業、木次三刀屋系遠方監視設備の更新など水道施設のトラブルに早期に対応できる監視体制の強化に取り組みました。

## 2. 業 務

## [ 1 ]業務量

事 項	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	比率(%)
給 水 戸 数 ( 戸 )	14,980	14,958	22	100.1
年 間 有 収 水 量 ( m <sup>3</sup> )	3,412,982	3,468,623	△ 55,641	98.4

## 3. 収益的収入及び支出

## [ 1 ]収益的収入 (水道料金をはじめとする収益)

(単位:千円・税抜き)

事 項	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	比率(%)
営 業 収 益	835,500	841,804	△ 6,304	99.3
給 水 収 益	811,094	819,018	△ 7,924	99.0
そ の 他	24,406	22,786	1,620	107.1
営 業 外 収 益	470,885	490,929	△ 20,044	95.9
他会計補助金	280,463	291,770	△ 11,307	96.1
長期前受金戻入	188,834	198,299	△ 9,465	95.2
そ の 他	1,588	860	728	184.7
計(A)	1,306,385	1,332,733	△ 26,348	98.0

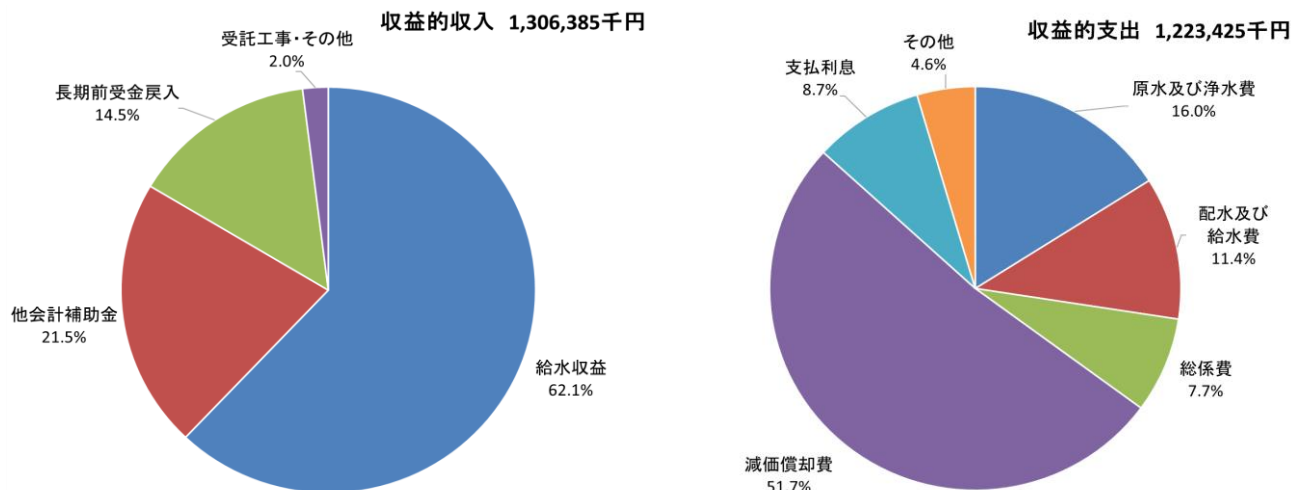
## [ 2 ]収益的支出 (水道の供給を行うための経常的な費用)

(単位:千円・税抜き)

事 項	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	比率(%)
営 業 費 用	1,077,989	1,105,015	△ 27,026	97.6
原水及び浄水費	196,091	179,408	16,683	109.3
配水及び給水費	139,523	138,037	1,486	101.1
総 係 費	93,670	104,167	△ 10,497	89.9
減価償却費等	632,366	672,106	△ 39,740	94.1
そ の 他	16,339	11,297	5,042	144.6
営 業 外 費 用	106,113	119,991	△ 13,878	88.4
支 払 利 息	105,854	115,923	△ 10,069	91.3
そ の 他	259	4,068	△ 3,809	6.4
特 別 損 失	39,323	0	39,323	皆増
災害による損失	16,906	0	16,906	皆増
資産減耗費	22,417	0	22,417	皆増
予 備 費	0	0	0	—
計(B)	1,223,425	1,225,006	△ 1,581	99.9

[3] 当期純利益(A-B)

82,960 千円 (R2:107,726千円)



4. 資本的収入及び支出

[1] 資本的収入 (建設改良工事や償還元金の財源となる収入) (単位:千円・税込み)

事 項	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	比率(%)
企 業 債	36,100	16,500	19,600	218.8
出 資 金	16,600	5,700	10,900	291.2
負 担 金	35,782	66,837	△ 31,055	53.5
他 会 計 補 助 金	129,419	124,452	4,967	104.0
国 庫 補 助 金	30,600	12,840	17,760	238.3
計	248,501	226,329	22,172	109.8

[2] 資本的支出 (サービスを行うために必要な施設の建設費・改良費や企業債の償還元金に要する支出) (単位:千円・税込み)

事 項	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	比率(%)
建 設 改 良 費	267,230	212,407	54,823	125.8
企 業 債 償 還 金	496,884	483,504	13,380	102.8
計	764,114	695,911	68,203	109.8

【主な建設改良事業】

- 山王寺本郷地区水道整備事業 50,000 千円
- 生活基盤施設耐震化等交付金事業(配水管改良更新、施設台帳システム構築) 32,370 千円

資本的収入が資本的支出に対して不足する額 515,613 千円 (R2:469,582千円) は、消費税資本的収支調整額、建設改良積立金、過年度分損益勘定留保資金で補てんする。